

東京神奈川公立高校の国公立大学現役進学率（15.0%以上。但し中高一貫校を除く）。

出典：『サンデー毎日』2018年6月24日号 81~87頁。※ 都立新宿高校は現役合格者数（学校HP）。

学校名	卒数	東京一工 現役進学数	国公立大学 現役進学数	国公立大学 現役進学率	教委での位置づけ
県立横浜翠嵐	350	35	138	39.4%	学力向上進学重点校
市立横浜サイエンス	234	16	91	38.9%	進学指導重点校（市）
都立日比谷	325	56	124	38.2%	進学指導重点校
都立八王子東	317	12	102	32.2%	進学指導重点校
都立戸山	323	19	103	31.9%	進学指導重点校
県立湘南	358	46	108	30.2%	学力向上進学重点校
都立青山	319	18	96	30.1%	進学指導重点校
県立厚木	356	8	105	29.5%	学力向上進学重点校
都立西	319	27	94	29.47%	進学指導重点校
都立国分寺	316	4	90	28.5%	進学指導特別推進校
県立柏陽	316	7	85	26.9%	学力向上進学重点校
都立立川	314	13	84	26.8%	進学指導重点校
都立国立	321	27	85	26.5%	進学指導重点校
都立新宿	316	7	79	25.0%	進学指導特別推進校
都立武蔵野北	239	3	59	24.7%	進学指導推進校
県立小田原	311	3	65	20.9%	エントリー校※
都立小松川	348	0	70	20.11%	進学指導特別推進校
都立多摩科学技術	209	0	42	20.1%	進学指導推進校
都立小山台	309	1	60	19.4%	進学指導特別推進校

県立川和	322	5	58	18.0%	エントリー校
県立相模原	276	1	47	17.0%	エントリー校
都立町田	315	0	51	16.2%	進学指導特別推進校
都立竹早	237	1	38	16.0%	進学指導推進校
県立多摩	273	5	41	15.0%	エントリー校

※ エントリー校とは、神奈川県立高校の中で学力向上進学重点校へ指定を目指すエントリー校を示す。神奈川県教育委員会では、平成28年1月に策定した「県立高校改革実施計画」によって、将来の日本や国際社会でリーダーとして活躍できる高い資質・能力を持った人材を育成する学校として、学力向上進学重点校を県教育委員会が示す指標に基づき指定することとしている。学力向上進学重点校は、現在、横浜翠嵐、湘南、厚木、柏陽の4校である。

※ (都立) 進学指導重点校： 将来の日本のリーダーとなり得る高い資質をもった生徒に対し、国家や社会に対する責任と使命を自覚させるとともに、思考力、判断力、表現力を鍛え、難関国立大学などへの進学希望も実現させることのできる学校。日比谷、西、国立、八王子東、戸山、青山、立川（7校）。

※ (都立) 進学指導特別推進校： 将来の日本のリーダーとなり得る高い資質をもった生徒に対し、国家や社会に対する責任と使命を自覚させるとともに、思考力、判断力、表現力を鍛え、国公立大学(四年制)、難関私立大学などへの進学希望も実現させることのできる学校。小山台、駒場、新宿、町田、国分寺、国際、小松川（7校）。

※ (都立) 進学指導推進校： 高い将来の目標に向かって自ら進路選択ができ、意欲的に勉学に取り組む生徒の進学希望をかなえることのできる学校。三田、豊多摩、竹早、北園、墨田川、城東、武蔵野北、小金井北、江北、江戸川、日野台、調布北、多摩科学技術（13校）。

備考： 都立高校における進学指導重点校と神奈川県立高校における学力向上進学重点校は、国が現在推進する高大接続改革において、卒業生が特に選抜性の高い大学への進学を目指すべき学校である。低所得層の子弟をいかにこれらの学校に多く進学させるかが、今後の課題。